

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

【平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月の進捗状況】

当金庫は恒久的な枠組みの下、持続可能な地域密着型金融の推進を図るべく、「基本方針」及び「地域密着型金融推進計画」を策定し、計画実現に努めています。

平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月までの計画の進捗状況について取り纏めましたので公表いたします。

1. 基本方針

当庫は地域密着型金融の推進が地域の活性化、地域発展のために不可欠であることを認識し、また当庫の経営力強化にも地域密着型金融の推進が課題であることを位置づけ、地域の皆様が何を求めているか、当庫が地域の皆様に何が出来るか、この視点を踏まえて、地域密着型金融の推進に取り組みます。また一層の経営力の強化を図るため、ガバナンスの強化、コンプライアンス態勢・リスク管理態勢の強化に取り組みます。

2. 具体的取組みについて

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化として、「創業・新事業支援」、「経営改善支援」、「事業再生支援」、「事業承継支援」に取り組みました。

平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月までの「創業・新事業支援」の推進として、創業支援融資目標 60 先と掲げて取り組んだ結果、70 先 1,794 百万円の実績を上げ、目標を上回ることが出来ました。「経営改善支援」については、管理部融資リスク管理課を立ち上げ(平成 21 年 4 月審査部企業支援課の新設にて、業務を移行)経営改善支援の強化を図りました。また目利き能力の向上、経営支援ノウハウの修得を目指し、「目利き力養成・再生支援関連講座」に 121 名の派遣を致しました。「事業再生支援」については、再生支援委員会の機能アップを図り、再生支援に取り組み、ランクアップ目標 45 先に対し、60 先のランクアップが図れています。

「事業承継支援」については、事業承継に関する情報提供を実施し、M & A を含めた事業承継支援を図るべく、姫路商工会議所と「M & A の仲介業務に関する協定」を締結し、支援強化に取り組みました。また、「ばんしん後継者養成塾」において、後継者の育成支援、情報提供に取り組んでいます。

(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

担保・個人保証に過度に依存しない融資である「ばんしんがんばるローン・街づくり応援ローン域・生き」は実績 152 先 3,247 百万円、「動産担保融資」は実績 7 先 230 百万円と、目標以上の実績を上げることができました。

(3) 持続可能な地域経済への貢献

「地域の面的再生・活性化につながる多様なサービスの提供」、「地域社会への貢献・還元」、「地域の利用者の満足度を重視した経営」を推し進め、様々

な取り組みを実施致しました。特に利用者の満足度を重視した取り組みとして、当庫は毎年「店頭サービスお客様アンケート」を実施し、お客様のご意見、要望を踏まえた経営に取り組んでいます。

(4) 経営力の強化に向けた取り組みの徹底

「ガバナンスの強化」については、総代会に関する適切な情報開示に取組むと同時に、総代会の機能向上に向けた取り組みとして、平成21年5月、10月に地区別総代懇談会を開催しました。地区別総代懇談会においては総代の定年制導入等を含めた総代会制度のあり方や当金庫の事業活動について活発な意見交換を行い、経営改善に反映させるべく努めています。また、経営情報の半期開示を実施しています。

「コンプライアンス態勢の強化」については、四半期毎に苦情票をまとめ、全役職員に内容を通知し、各部店で勉強会を実施し、苦情・相談、顧客保護の対応強化に努めています。

「ITの戦略的活用」については、当庫は平成19年5月に次期システムを構築し、顧客サービスのレベルアップを図り、統合データベースの構築も実現しています。また、自営でのバックアップシステムの構築に取り組み、平成21年1月に稼動しました。

インターネットバンキングについても、セキュリティ強化としてワンタイムパスワードを導入、法人向けについては電子証明書を導入しています。

ATM機能は、懸賞金付定期預金対応、手のひら認証の相互利用、ジャーナルの電子化、ICカード振込機能対応、自動取消対応等のシステム構築は完了しており、順次展開中です。また、平成21年6月より硬貨入金対応、手数料画面表示対応、振込め詐欺対応、カード取り忘れ防止等の対応を図りました。

3. 進捗状況の評価及び今後の課題

平成19年4月～平成22年3月における地域密着型金融の推進実績については、平成19年4月～平成22年3月の進捗状況欄に記載のとおり、概ね計画どおりの実績を残すことができました。今後も、地域密着型金融の取り組みの本質を踏まえて、地域密着型金融の更なる推進強化と公表数値目標の達成を図ってまいります。

4. 主要開示項目及び数値目標の進捗について（*印が主要開示項目 印が当庫公表数値目標）

	項目	平成 19 年度～平成 21 年度実績	
ライフサイクルに応じた支援強化	* 経営改善支援取組み率	21.5%	経営改善支援取組み先数 ÷ 期初債務者数（正常先除く） (183 先) (851 先)
	* 再生計画策定率	21.3%	再生計画策定先数 ÷ 経営改善支援取組み先数 (39 先) (183 先)
	* ランクアップ率	32.8%	ランクアップ先数 ÷ 経営改善支援取組み先数 (60 先) (183 先)
	ランクアップ先数	平成 19 年度～平成 21 年度目標 45 先	平成 19 年度・平成 20 年度・平成 21 年度実績 実績 60 先
	* 創業・新事業支援融資実績	60 先	実績 70 先 1,794 百万円
	目利き力養成・再生関連講座	100 名	実績 121 名
中小企業に適した資金供給手法の徹底		150 先	ばんしんがんばるローン・街づくり応援ローン域・いき 実績 152 先 3,247 百万円
		1,559 先	ばんしんビジネスローン ・ ・ ・ 商工会議所メンバーズローン 実績 1,100 先 25,117 百万円
	* 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績	15 先	多重債務者対応ローン 実績 5 先 9 百万円
		6 先	動産担保（ABL）融資 実績 7 先 230 百万円
		15 先	売掛債権担保融資 実績 6 先 1,431 百万円
		合計 1,745 先	実績 1,270 先 30,034 百万円

4. 主要開示項目及び数値目標の進捗について（*印が主要開示項目 印が当庫公表数値目標）

	項目	平成 21 年度実績	
ライフサイクルに応じた支援強化	* 経営改善支援取組み率	16.2%	経営改善支援取組み先数 ÷ 期初債務者数（正常先除く） (179 先) (1,106 先)
	* 再生計画策定率	4.5%	再生計画策定先数 ÷ 経営改善支援取組み先数 (8 先) (179 先)
	* ランクアップ率	3.4%	ランクアップ先数 ÷ 経営改善支援取組み先数 (6 先) (179 先)
	ランクアップ先数	平成 21 年度目標 15 先	平成 21 年度実績 実績 6 先
	* 創業・新事業支援融資実績	20 先	実績 23 先 457 百万円
	目利き力養成・再生関連講座	33 名	実績 34 名
中小企業に適した資金供給手法の徹底	* 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績	50 先	ばんしんがんばるローン・街づくり応援ローン域・いき 実績 10 先 52 百万円
		523 先	ばんしんビジネスローン ・ ・ ・ 商工会議所メンバーズローン 実績 61 先 1,077 百万円
		5 先	多重債務者対応ローン 実績 2 先 3 百万円
		2 先	動産担保（ABL）融資 実績 2 先 170 百万円
		5 先	売掛債権担保融資 実績 1 先 80 百万円
		合計 585 先	実績 76 先 1,382 百万円

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

具体的取組み及び具体的目標（平成19年度～平成21年度）

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成19年4月～平成22年3月進捗状況	平成21年4月～平成22年3月進捗状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化				
事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・早期事業再生に向けた積極的取組み ・再生支援協議会等との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援委員会の機能アップを図り、早期事業再生及び経営改善を図る ・再生支援対象先をリストアップし、再生支援に取り組む ランクアップ目標 平成19年度15先、平成20年度15先 平成21年度15先 3ヶ年計45先 ・積極的に中小企業再生支援協議会との連携・活用を図り、事業再生スキームの再生手法を活用した事業再生支援に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年10月、新再生支援委員会を立ち上げ、再生支援先183先をリストアップし、全先に対し与信方針協議書を策定、これに基づき個別に支援を図りました。 ・平成19年4月～平成22年3月でのランクアップ先60先。 ・中小企業再生支援協議会との連携により3社を再生支援実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生支援先に対して策定した与信方針協議書に基づき、個別に支援策を図りました。 ・平成21年4月～平成22年3月での再生支援先ランクアップ先6先。

創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・創業・新事業展開に応じた適切な支援の強化 ・創業・新事業展開に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援関連融資を積極的に推進する 創業支援融資目標 平成 19 年度 20 先、平成 20 年度 20 先 平成 21 年度 20 先、3 ヶ年計 60 先 ・商工会議所・商工会、政府系金融機関等との連携強化を図り、創業・新事業支援に結びつく情報提供の推進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・「創業支援融資」の実績については70先1,794百万円と目標を上回ることが出来ました。 70先 1,794百万円 3 ヶ年計目標 60 先に対し実績 70 先で 10 先オーバーしております。今後も積極的に対応します。 ・商工会議所、商工会、政府系金融機関との連携強化に努めると同時に、創業支援機関でもある「中小企業支援ネットひょうご」を当庫ホームページに掲載し、情報提供の推進を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「創業支援融資」の平成 21 年度実績 23 先 457 百万円 平成 21 年度の実績により、3 ヶ年の目標を達成することが出来ました。
----------	--	--	--	--

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況
1 . ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化				
経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な情報提供・経営指導・相談 ・目利き能力の向上、人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融資先のモニタリング強化を行い、相談対応、経営改善指導及び公的的制度等に係る情報提供の推進を図る ・ 後継者の育成、ビジネスマッチング、経営における情報提供を目的とした「後継者養成塾」の定期的開催 ・ 目利き能力の向上、事業再生ノウハウの習得を目指す人材育成を徹底する 目利き力養成・再生関連講座参加目標 平成 19 年度 34 名、平成 20 年度 33 名 平成 21 年度 33 名 3 ヶ年計 100 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新再生支援委員会を立ち上げ、営業店からの報告に基づき再生支援先 183 先をリストアップ。全先に対し与信方針協議書を策定し、個別に支援策を検討致しました。平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月までの経営改善計画書策定先は 39 先です。 ・ 「ばんしん後継者養成塾」は 32 回開催 延べ 1,660 名の参加を得ました。 ・ 目利き力養成・再生関連講座に 121 名参加し、目標を 21 名上回りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 先の再生支援先に対し、経営改善計画書を策定致しました。 ・ 「ばんしん後継者養成塾」は 9 回開催 延べ 522 名の参加を得ました。 ・ 目利き力・再生関連講座に 34 名派遣致しました。

	事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継に関する情報提供 ・M & A を含めた事業承継支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店への定期的なM & A 情報の提供を実施する ・事業承継に関する勉強会の開催等、積極的な事業承継支援の強化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路商工会議所との「M&A の仲介業務に関する協定書」に基づいてM&A の情報提供を実施いたしました。 ・「ばんしん後継者養成塾」において、事業承継に関する講義開催。取引先への情報提供に取組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・M&A の情報提供に随時取組んでいます。 ・「ばんしん後継者養成塾」において、事業承継を含む経営のノウハウを学ぶ講義を開催しました。 																																			
項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標		平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況																																			
2 . 中小企業に適した資金供給手法の徹底																																								
	担保・個人保証に過度に依存しない融資	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の支援強化の取組み、中小企業金融における貸出機能の強化を図るべく、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進 ・多重債務者問題解決への一定の役割発揮 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的数値目標 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>19 年度</th> <th>20 年度</th> <th>21 年度</th> <th>3 ヶ年合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ばんしんがんばるローン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>街づくり応援ローン域・活き</td> <td>50 先</td> <td>50 先</td> <td>50 先</td> <td>150 先</td> </tr> <tr> <td>ばんしんビジネスローン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>商工会議所メンバーズローン</td> <td>513 先</td> <td>523 先</td> <td>523 先</td> <td>1,559 先</td> </tr> <tr> <td>多重債務者対応ローン</td> <td>5 先</td> <td>5 先</td> <td>5 先</td> <td>15 先</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>568 先</td> <td>578 先</td> <td>578 先</td> <td>1,724 先</td> </tr> </tbody> </table> <p>商工会議所メンバーズローンは「ビジネスローン」を商工会議所に登録して取扱う商品にて実質ビジネスローンなのでビジネスローンの目標と合算しています。</p>		19 年度	20 年度	21 年度	3 ヶ年合計	ばんしんがんばるローン					街づくり応援ローン域・活き	50 先	50 先	50 先	150 先	ばんしんビジネスローン					商工会議所メンバーズローン	513 先	523 先	523 先	1,559 先	多重債務者対応ローン	5 先	5 先	5 先	15 先	合 計	568 先	578 先	578 先	1,724 先	<ul style="list-style-type: none"> ・ばんしんがんばるローン 街づくり応援ローン域・活き 152 先 3,247 百万円 計画を上回ることができました。 ・ばんしんビジネスローン ・ 商工会議所メンバーズローン 1,100 先 25,117 百万円 ・多重債務者対応ローン 5 先 9 百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ばんしんがんばるローン 街づくり応援ローン域・活き 10 先 52 百万円 ・ばんしんビジネスローン ・ 商工会議所メンバーズローン 61 先 1,077 百万円 ・多重債務者対応ローン 2 先 3 百万円
	19 年度	20 年度	21 年度	3 ヶ年合計																																				
ばんしんがんばるローン																																								
街づくり応援ローン域・活き	50 先	50 先	50 先	150 先																																				
ばんしんビジネスローン																																								
商工会議所メンバーズローン	513 先	523 先	523 先	1,559 先																																				
多重債務者対応ローン	5 先	5 先	5 先	15 先																																				
合 計	568 先	578 先	578 先	1,724 先																																				

2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底																			
中小企業に適した資金供給手法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業に適した資金供給手法である融資商品を積極的に推進する ・ 顧客ニーズを踏まえた融資商品等の提供及び個人・小規模事業者の資金ニーズに対するきめ細やかな対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的数値目標 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>19年度</td> <td>20年度</td> <td>21年度</td> <td>3ヶ年合計</td> </tr> <tr> <td>動産担保融資</td> <td>2先</td> <td>2先</td> <td>2先</td> <td>6先</td> </tr> <tr> <td>売掛債権担保融資</td> <td>5先</td> <td>5先</td> <td>5先</td> <td>15先</td> </tr> </table> ・ マーケティングプロジェクトを立ち上げ、顧客ニーズを科学的に分析し、資金ニーズにきめ細かく対応する為、その詳細な分析結果に基づく融資対応を図る 		19年度	20年度	21年度	3ヶ年合計	動産担保融資	2先	2先	2先	6先	売掛債権担保融資	5先	5先	5先	15先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動産担保融資 7先 230 百万円 ・ 売掛債権担保融資 6先 1,431 百万円 動産担保融資は計画を上回る事が出来ました。 ・ マーケティングプロジェクトとして、全融資先に郵送アンケートを実施。顧客ニーズに合致する融資商品開発に取り組み、平成 20 年 9 月に新商品「ばんしん資金計画サポート証貸」を導入しました。 実績 24先 1,183 百万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動産担保融資 2先 170 百万円 ・ 「ばんしん資金計画サポート証貸」 平成 21 年度実績 2先 65 百万円
	19年度	20年度	21年度	3ヶ年合計															
動産担保融資	2先	2先	2先	6先															
売掛債権担保融資	5先	5先	5先	15先															
項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況															
3. 持続可能な地域経済への貢献																			
地域の面的再生・活性化につながる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスマッチング等を活用した支援 ・ 地域との連携強化 ・ 景気動向調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスマッチング等を活用した企業のマッチング支援を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川上・川下ビジネスネットワーク事業に参加。ビジネスシーズとニーズとのマッチングに取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年度 6 社のシーズ企業調査を行い、ニーズのある企業とのマッチングに取り組んでいます。 															

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家・コンサル等による講演会等を開催し、情報提供し、地域への連携強化を図る ・ 多重債務者問題への対応として、多重債務者対応ローンの取扱を開始 ・ 3ヶ月毎に継続した景気動向調査を実施し、地域の経済動向を公表することで地域経済への貢献を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療業対象講演会開催 実施回数 3 回 延べ参加人数 162 名 ・ 遊戯業対象講演会 実施回数 3 回 延べ参加人数 130 名 ・ 収益物件所有者対象講演会 実施回数 2 回 延べ参加人数 120 名 ・ 多重債務者ローン 5 先 9 百万円 多重債務者対応ローンとしてばんしんおまとめローンを平成 20 年 4 月より取り扱い開始しております。 ・ 「ばんしん景況レポート」 年 4 回発行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療業対象講演会開催 (7 月 9 日) 参加人数 53 名 ・ 遊戯業対象講演会 (6 月 25 日) 参加人数 41 名 ・ 収益物件所有者対象講演会 (7 月 2 日) 参加人数 64 名 ・ 多重債務者ローン 2 先 3 百万円 ・ 「ばんしん景況レポート」 2009 年 4 月、7 月、10 月、2010 年 1 月発行。
地域社会への貢献・還元	地域社会への貢献・還元	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会への貢献・還元を行なう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供達が自然に触れあい、環境への意識を高める取組への協賛及びボランティアの派遣 ・ ベトナム人の日本語指導への支援・協賛 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「移動水族館」へのボランティア支援及び協賛 延べ支援回数 36 回 当庫ボランティア参加人数 延べ 57 名 ・ ベトナム人の日本語指導への支援・協賛 日本語検定試験費用支援 日本語スピーチコンテストへの協賛 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「移動水族館」へのボランティア支援及び協賛 支援回数 16 回 当庫ボランティア参加人数 18 名 ・ ベトナム人の日本語指導への支援・協賛 日本語検定試験支援 日本語スピーチコンテストへの協賛

		・「夏休み親子で学ぶおかねの学習会」に協賛・支援	・「夏休み親子で学ぶおかねの学習会」に協賛・支援 姫路市と協賛し小学生親子におかねの大切さを実感していただきました。	・「夏休み親子で学ぶおかねの学習会」に協賛・支援 小学生親子 40 名が当金庫神戸本部において模擬紙幣 1 億円の体験等を通じておかねの大切さを実感していただきました。
項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況
3 . 持続可能な地域経済への貢献				
地域の利用者の満足度を重視した経営	・顧客アンケートの実施	・ 金庫に対する意見や要望、利用者ニーズを把握するためのアンケート調査等を年 1 回実施し、アンケート結果を踏まえて、利用者満足度向上に向けた施策の検討を行い、併せて業務改善が必要な事項について、適切な改善の実施に努める	・平成 20 年 2 月、平成 21 年 2 月、平成 22 年 2 月にそれぞれ全営業店窓口で来店客を対象とした『店頭サービスお客様アンケート』を実施。 ・全営業店で実施した『店頭サービスお客様アンケート』の結果を総代会で報告するとともに、本部・営業店へ還元。 ・アンケート結果を踏まえ、各営業店・本部において、利用者満足度の向上を図るよう努めました。	・平成 21 年度に実施した『店頭サービスお客様アンケート』の結果を全役職員に還元。前年度に引き続き、顧客説明の徹底、窓口対応の改善を図るため、ロールプレイング大会を開催。 ・ニーズの高かった ATM コーナーの増設や新店舗の開設、既存店舗のリニューアル等、店舗設備の充実に努めました。 ・平成 21 年度の取り組みとして、平成 22 年 2 月に全営業店で『店頭サービスお客様アンケート』を実施しました。

4 . 経営力の強化に向けた取組の徹底

	<p>ガバナンスの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会の機能向上等に向けた取組の実施 ・半期開示の充実にに向けた取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会に関する適切な情報開示を行うとともに、総代会の機能向上等に向けた取組を継続して推進する。また、会員の意見・ニーズ等を把握する態勢づくりに継続的に取組むとともに会員の意見等を踏まえた改善策等に取り組み、会員との関係強化を図る ・経営情報の半期開示を継続して実施するとともに、ディスクロージャー誌等について開示項目の内容等の拡充を図り、より分かりやすい情報開示に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会の機能向上に向けた取組みとして、平成 21 年 5 月と 10 月(11 月)に地区別総代懇談会を開催。役員と総代を数グループに分け、定年制導入等を含めた総代会制度のあり方や当金庫の事業活動について活発な意見交換を行い、経営改善に反映させるべく努めました。 ・総代会に関する情報開示として、ディスクロージャーに、総代会のしくみ、総代選任に関する事項及び総代氏名を掲載するとともに、全会員に送付する業務報告書に総代会制度について掲載し、会員への周知に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年 6 月に全会員に送付した第 79 期業務報告書に総代会制度について掲載し、制度の周知に努めました。 ・平成 21 年度は、地区別総代懇談会を開催。定年制導入等を含めた総代会制度のあり方や当金庫の事業活動について活発な意見交換を行い、経営改善に反映させるべく努めました。 <p>平成 21 年 5 月開催 68 名出席(120 名中)</p> <p>平成 21 年 10 月、11 月開催 70 名出席(119 名中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年 7 月に発行したディスクロージャー誌に総代会に関する情報開示として、総代会のしくみ、総代選任に関する事項及び総代氏名を掲載しました。
--	-----------------	---	---	---	--

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況
4 . 経営力の強化に向けた取組の徹底				
コンプライアンス態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> 法令等遵守・顧客保護の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 法令等遵守態勢の強化 コンプライアンス規程等の見直し実施 研修・勉強会実施によるコンプライアンス意識の周知徹底 コンプライアンス委員会等の実効性検証 顧客保護等管理態勢を高める 顧客保護規程等の見直し、整備 相談、苦情対応機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 「コンプライアンス方針」及びその方針に従った規程の整備及び具体的事例をテーマとした研修・勉強会の実施。 全信協発刊事例に学ぶ「信用金庫職員のコンプライアンス」＜改訂版＞の読合せ実施。 反社会的勢力対応規程・マニュアルを作成 「顧客保護等管理方針」及びその方針に従った規程の整備 苦情事例を当金庫イントラネット掲載及び全職員による通知にて改善対応、再発防止策に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 「コンプライアンス・ハンドブック」の冊子を作成。全職員（派遣社員を含む）に配布して研修会、勉強会にて使用してコンプライアンス意識の高揚を図っています。 反社会的勢力等の取引を防ぐため、情報を共有化し預金、融資等新規申込時のチェック体制を確立。 四半期毎に苦情票をまとめ委員会・理事会に報告後、各部店で勉強会を実施しています。
リスク管理態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> 信用リスク管理態勢の充実 市場リスク管理態勢の充実 	「信用格付管理規程」、「問題債権管理規程」、「与信ポートフォリオ管理規程」、「大口与信管理規程」等の各規程を整備し、信用リスク管理態勢の充実・強化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 「信用格付細則」「問題債権管理細則」「与信ポートフォリオ管理細則」「大口与信管理細則」の策定及び改定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年度は「市場リスク管理委員会」を「統合的リスク管理委員会」に統合し、市場リスクを含む、当金庫の業務遂行にかかる全てのリスクを

			<ul style="list-style-type: none"> ・市場リスク管理態勢の整備 「市場関連リスク管理要領」の改定、「余資運用規程」及び「市場リスク管理規程」を制定し、市場関連リスクの管理指標を明確にし、市場関連リスクの管理手法をより強固なものとする ・バーゼル の対応 自己資本比率算出システムを導入し、より精緻且つ迅速に算出する態勢を構築する。また、「自己資本管理規程」等の規程を整備し、自己資本管理態勢の構築に向けた取組みを強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市場リスク管理方針」「市場リスク管理規程」「余資運用細則」「余資運用に係るリスク管理細則」「自己査定に伴う有価証券の減損処理判断基準」を制定及び改定し、手続きの明確化や牽制機能を向上させるとともに、市場リスクに限らず全てのリスクを統合的に管理できる態勢整備を図っています。 ・月次にて、余資運用の実績、評価損益、B P V、V a R 計測およびリスク限度額との対比を実施しリスク管理を徹底し、統合的なリスク管理を行っています。 ・自己資本管理についてもシステムを導入して自己資本比率の算出の迅速性と的確性を向上させました。 	<p>統合的に直接管理できる態勢に整えました。</p> <p>統合的リスク管理委員会は市場リスクについて、主管部門の管理手法ならびに手続きの適正性を検証し、牽制を図ることとしています。</p>
--	--	--	---	--	--

項目	取組方針	具体的取組み及び数値目標	平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況	平成 22 年 4 月～平成 22 年 3 月進捗状況
4 . 経営力の強化に向けた取組の徹底				
I T の戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期システム構築を含めたシステム開発ならびにビジネスモデルに応じた I T の戦略的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顧客満足の為の統合データベースの有効利用 ・ インターネットバンキングサービスの推進・セキュリティ強化 ・ 災害時の業務継続に向けた自営でのバックアップシステムの構築 ・ A T M 機能拡充による顧客利便性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合データベースシステムを構築し、平成 20 年 10 月より各サブシステムとの連携利用など拡大を図りました。 ・ インターネットバンキングのセキュリティ強化を行い、個人向けはワンタイムパスワード、法人向けは電子証明書を導入。インターネットバンキングの契約数は 3,075 件の増加となりました。 ・ 神戸本部完成後、自営でのバックアップセンターを平成 21 年 1 月より稼働させています。 ・ A T M 取引機能拡充として、「懸賞金付定期預金対応」「手のひら認証の相互利用」「ジャーナルの電子化」「IC カード振込機能対応」「自動取消対応」のシステム構築を完了しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットバンキングのセキュリティ強化を行い、平成 21 年度契約数は 994 件の増加となりました。 ・ 自営でのバックアップセンター稼働後、平成 21 年 11 月に災害時対応訓練を実施しました。 ・ A T M 取引での機能アップのため、平成 21 年 6 月より、新たに硬貨入金対応、手数料画面表示対応、振込め詐欺対応、カード取り忘れ防止等の対応を図りました。

				更なる顧客利便性向上 に努めてまいります。	
--	--	--	--	--------------------------	--